

氏名： 水野 勲 (MIZUNO Isao)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 准教授
学位： 博士 (理学)、東京都立大学、1998 年
専門分野： 数理地理学、経済地理学
URL： <http://info.pr.ocha.ac.jp/staff/detail.asp?staff=78927827>
E-mail： mizuno.isao@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

集積/地理的モデリング/パネル調査/職住関係/韓国
agglomeration / geographical modeling / panel survey / work-home relationships / South Korea

◆主要業績

総数 (5) 件

- ・水野 勲 (2009) 「“新しい経済地理学” と地理的モデリングの問題：市場構造の数学的定式について」. 地域と環境 8・9, pp. 19-30.
- ・水野 勲 (2008) 「居住とその変化」. 『家族・仕事・家計に関する国際比較研究 韓国パネル調査 第5年度報告書』 F-GENS Publication Series 28, pp. 26-33.
- ・水野 勲 (2008) 「住居とその変化」. 『家族・仕事・家計に関する国際比較研究 中国パネル調査 第4年度報告書』 F-GENS Publication Series 29, pp. 25-30.
- ・水野 勲 (2008) 「相模原」. 平岡昭利編著『地図で読み解く日本の地域変貌』海青社, pp. 100-101.
- ・ピーター・ゲールド、フォレスト・ピッツ編、杉浦芳夫監訳 (水野 勲ほか共訳) (2008) 『地理学の声：アメリカ地理学者の自伝的エッセイ集』古今書院. 翻訳担当箇所: レスリー・カリー (pp. 83-101)、デヴィッド・ハーヴェイ (pp. 154-196)

◆研究内容 / Research Pursuits

- ① 近年の主流派経済学と経済地理学との論争を検討し、産業集積の経済地理的モデリングの理論的考察を行い、論文を発表した。
I I examined the recent debate between mainstream economics and economic geography, made a theoretical consideration on economic geography modeling of industrial agglomeration, and published the paper of the results.
- ② リスクと地理情報研究会の共同研究者とともに、東京 23 区の震災被害に関する物理的危険度と社会的脆弱性の地域分析の結果を、学会発表した。
II I made a presentation of the regional analysis in the academic conference, concerning to earthquake's potential disaster structure of physical risk and social vulnerability in Tokyo metropolitan area.
- ③ アメリカ地理学者の自伝的エッセイ集を共同訳した。
III My research colleagues and I translated the autobiographical essays by Anglo-American leading geographers.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部では、地理学の必修科目である都市と自然、地理学フィールドワークA（長崎）、同B（神田川）、コア科目の基礎ゼミで演習を行った。また地理学の専門科目である経済地理学、地域分析学演習、卒論の指導を行った。4名の卒論生の指導を行った。

大学院では、博士前期課程の地域経済論で、William CrononのNature's Metropolisの各章を輪読した。修士課程3名、博士課程2名の研究指導を行った。

At undergraduate level, I delivered two lectures (Cities and Nature, Economic Geography), two field trips (Nagasaki in five days and Kanda River in one day), and two seminars (Basic Seminar and Regional Analysis). I made a guidance for four theses of undergraduate students.

At graduate level, I had one seminar for Nature's Metropolis. I advised three graduate students' theses and two doctoral candidates.

◆研究計画

1. リスクの地域分析と社会調査の接点に関する考察
2. 都市空間の職住分離の地域統計分析
3. 経路依存性を考慮した地域発展モデリング

◆メッセージ

ローカルな舞台で起こるさまざまな現象どうしを関連づけて理解し、さらにそれらの関連をより広い文脈の中に位置づけること、そして既存の人文・社会科学の理論を、地図や地域統計の分析を通して、多様性を内部に含んだ理論へと拡張すること、これらが地理学の課題としてあります。理論的な志向と、ユニークな現象への愛着を同時にもつために、私の授業が役立てばいいと思っています。